



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2020年第27週（6/29～7/5）【概要版】

2020年7月10日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 7月12日まで、県内全域に「腸管出血性大腸菌感染症多発警報」が発令されています。2019年に全国で認められた腸管出血性大腸菌による食中毒のうち、複数の事例で食肉が原因食品とされています。本疾患は重症化することもあるので、食肉は十分に加熱して食べてください。
- 気温と湿度の上昇により、細菌性食中毒が発生する可能性が高くなります。調理や食事前の手洗いとともに、食品の取扱いにご注意ください。
- 小児科定点把握疾患は、例年と比べて低いレベルで推移しています。
- 例年、降水量の増加とともに7月にレジオネラ症の増加を認めます。特に高齢の方は、土埃や環境中の水しぶきを吸い込まないように注意してください。

2. 報告数が多かった定点把握疾患（五類感染症）⁽ⁱ⁾

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	2.08	2.17	1.78				多			多			↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	0.44	0.81				↑	↑		多			多
ヘルパンギーナ	0.06	0.31	0.44				↑						多

(2) 前週の全国および近隣府県の状況（下線：滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	2.00	2.17	2.08	1.83	2.17	0.79	2.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>0.85</u>	0.44	<u>0.60</u>	<u>0.74</u>	<u>0.70</u>	0.34	<u>0.56</u>
ヘルパンギーナ	0.14	0.31	0.06	0.12	0.09	0.02	0.09



3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	4	4	3				1	1	1			
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	7	4	○	○		1		2	1		
四類	レジオネラ症	0	1	1	○		1						
五類	梅毒	1	3	1	○					1			

- 定点把握疾患：人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- 警；警報発令、注；注意報発令
- 今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用）、百日咳は2018年より全数把握とされているため、本標記対象から除外
- 「警；警報開始基準値を超過」、「注；注意報基準値に到達」、「多；今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑；前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

2020年第27週(6/29~7/5)【詳細版】

2020年7月10日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- 7月12日まで、県内全域に「腸管出血性大腸菌感染症多発警報」が発令されています。2019年に全国で認められた腸管出血性大腸菌による食中毒のうち、複数の事例で食肉が原因食品とされています。本疾患は重症化することもあるので、食肉は十分に加熱して食べてください。
- 気温と湿度の上昇により、細菌性食中毒が発生する可能性が高くなります。調理や食事の手洗いとともに、食品の取扱いにご注意ください。
- 小児科定点把握疾患は、例年と比べて低いレベルで推移しています。
- 例年、降水量の増加とともに7月にレジオネラ症の増加を認めます。特に高齢の方は、土埃や環境中の水しぶきを吸い込まないように注意してください。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県				保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根		長浜	高島	警報 開始	警報 終息
インフルエンザ (定点数:60)	インフルエンザ	0	0	0.02			0.08	0	0	0	0	0	0	0.00	30	10	10
	RSウイルス感染症	0	0.06	0			0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—	
	咽頭結膜熱	0.08	0.06	0.08			0.13	0	0	0.33	0	0	0	0.13	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	0.44	0.81			0.63	0.75	0.25	2.17	0	0.50	1.00	0.85	8	4	—
	感染性胃腸炎	2.08	2.17	1.78			2.13	0.75	0.50	4.00	1.75	1.75	0.50	2.00	20	12	—
	水痘	0.06	0.17	0.03			0.13	0	0	0	0	0	0	0.08	2	1	1
	手足口病	0.19	0.28	0.28			0.25	0.25	0	0.50	0.25	0	1.00	0.11	5	2	—
	伝染性紅斑	0.03	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0.02	2	1	—
	突発性発しん	0.42	0.39	0.22			0.25	0.38	0	0.50	0	0	0	0.57	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.06	0.31	0.44			0.38	0	0	0	0	0	6.50	0.14	6	2	—
小児科 (定点数:36)	流行性耳下腺炎	0	0.06	0.03			0	0	0	0.17	0	0	0	0.06	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0.13	0	0			0	0	0	0	0	0	0.19	8	4	—	
眼科 (定点数:8)	細菌性髄膜炎	0.14	0.29	0			0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.05	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	基幹 (定点数:7)																

i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値に到達

4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (52医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大津市保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

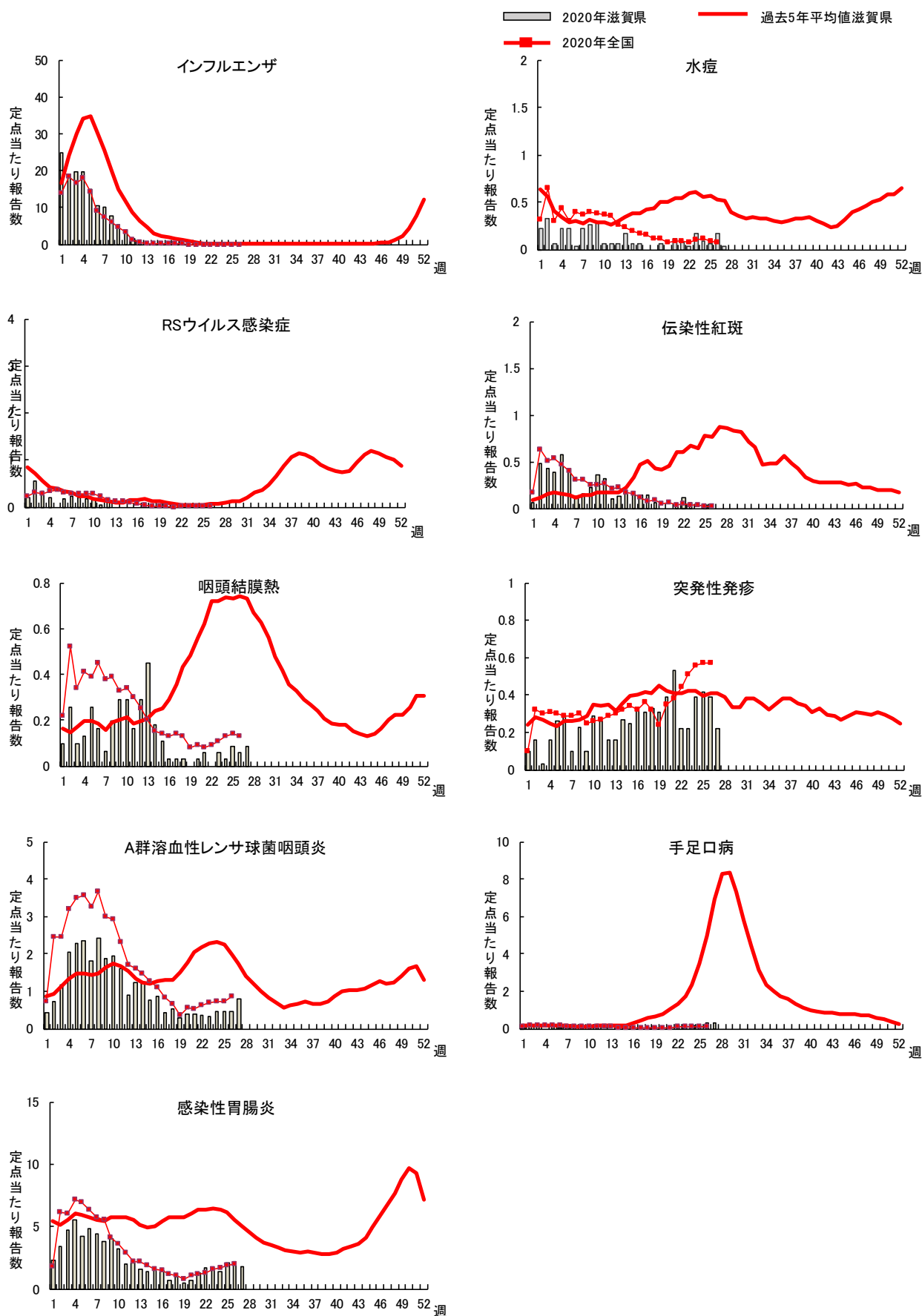
小児科定点 (31医療機関)	総数	0～5ヶ月	5～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	29	-	-	3	1	5	6	3	4	2	1	1	3	-	-
感染性胃腸炎	64	20	3	7	3	3	4	-	-	4	2	5	5	1	7
水痘	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	10	-	2	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	-	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	16	-	-	5	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

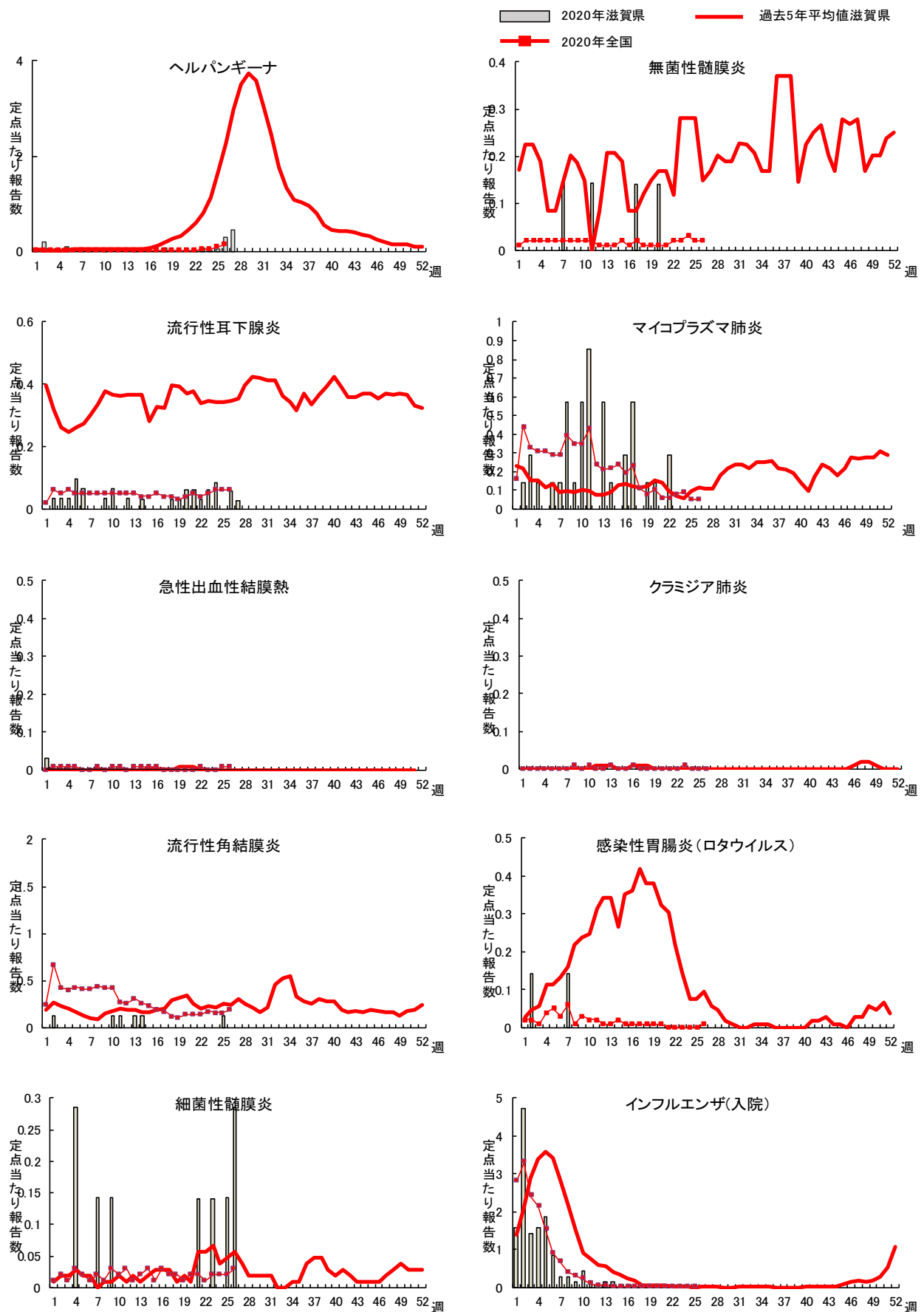
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」; 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	27	草津	80歳代	女	肺結核	国内	-
	結核	27	甲賀	60歳代	女	無症状病原体保有者	甲賀保健所管内	-
	結核	23	東近江	40歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-
	結核	27	東近江	80歳代	男	肺結核	県内	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	27	草津	30歳代	男	-	県内	O血清型不明VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	27	東近江	70歳代	女	-	東近江保健所管内	O157VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	27	東近江	30歳代	女	-	東近江保健所管内	O157VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	27	彦根	60歳代	男	-	県内	O157VT1VT2
四類	レジオネラ症	27	大津市	60歳代	男	肺炎型	草津保健所管内	-
五類	梅毒	27	東近江	30歳代	男	早期顕症Ⅱ期	-	性的接触
	梅毒	26	東近江	20歳代	女	無症状病原体保有者	-	感染経路不明

注目すべき感染症

1. 腸管出血性大腸菌感染症

- (1) 腸管出血性大腸菌感染症多発警報の発令について(滋賀県健康医療福祉部医療政策課感染症対策室)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/313026.html>

- (2) 腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/439-ehc-intro.html>

- (3) 家庭でできる食中毒予防の6つのポイント(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/point0709.pdf>

2. 新型コロナウイルス関連

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する滋賀県の状況について

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/309252.html>

- (2) 注目すべき感染症 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2487-idsc/idwr-topic/9726-idwrc-202.html>

- (3) 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル~「学校の新しい生活様式」~

https://www.mext.go.jp/content/20200522_mxt_kouhou02_mext_00029_01.pdf

- (4) 家庭内でご注意いただきたいこと ~8つのポイント~(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000601721.pdf>

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一~四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(2020 年、全国は前週までの値) vi,vii

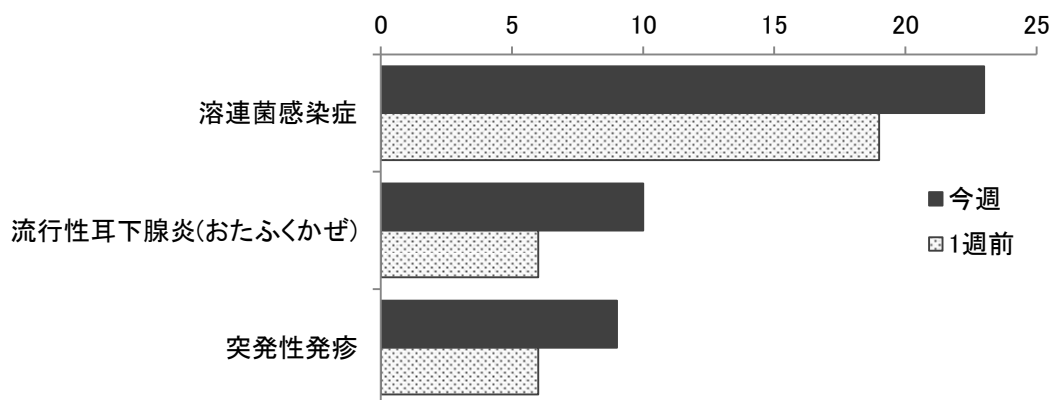
疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			95 6.72	43 12.57	15 4.36	4 2.78	13 5.71	6 3.85	10 6.54	4 8.49	8401 6.62	244 17.268	20625 16.2487
腸管出血性大腸菌感染症	○	○	23 1.63	0	2 0.58	3 2.08	14 6.15	4 2.57	0	0	728 0.57	70 4.954	3705 2.91886
三類 パラチフス	○	○	1 0.07	1 0.29	0	0	0	0	0	0	7 0.006	1 0.0708	21 0.01654
E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	248 0.20	1 0.0708	479 0.37736
A型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	76 0.06	2 0.1415	420 0.33088
四類 デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	41 0.032	1 0.0708	456 0.35924
日本紅斑熱			1 0.07	0	0	0	1 0.44	0	0	0	100 0.079	2 0.1415	316 0.24895
レジオネラ症	○		12 0.85	3 0.88	5 1.45	1 0.69	3 1.32	0	0	0	700 0.551	25 1.7693	2292 1.80568
アメーバ赤痢			3 0.21	2 0.58	1 0.29	0	0	0	0	0	298 0.235	10 0.7077	826 0.65074
ウイルス性肝炎			1 0.07	1 0.29	0	0	0	0	0	0	130 0.102	2 0.1415	322 0.25368
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	○	○	8 0.57	1 0.29	7 2.03	0	0	0	0	0	785 0.618	9 0.6369	2244 1.76786
急性弛緩性麻痺	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	15 0.012	1 0.0708	77 0.06066
急性脳炎	○	○	7 0.50	4 1.17	0	2 1.39	0	1 0.64	0	0	310 0.244	3 0.2123	890 0.70116
クロイツフェルト・ヤコブ病			0	0	0	0	0	0	0	0	67 0.053	4 0.2831	185 0.14575
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症			6 0.42	2 0.58	2 0.58	1 0.69	0	0	1 0.65	0	409 0.322	8 0.5662	907 0.71455
後天性免疫不全症候群			3 0.21	0	1 0.29	1 0.69	0	1 0.64	0	0	498 0.392	12 0.8493	1187 0.93514
侵襲性 インフルエンザ 菌感染症			3 0.21	0	1 0.29	0	1 0.44	1 0.64	0	0	172 0.136	10 0.7077	523 0.41203
五類 侵襲性髄膜炎菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	11 0.009	0	48 0.03782
侵襲性肺炎球菌感染症			8 0.57	2 0.58	4 1.16	2 1.39	0	0	0	0	999 0.787	29 2.0524	3195 2.51708
水痘(入院例)			1 0.07	1 0.29	0	0	0	0	0	0	181 0.143	2 0.1415	472 0.37185
梅毒	○		19 1.34	6 1.75	4 1.16	3 2.08	3 1.32	0	3 1.96	0	2786 2.195	32 2.2647	6435 5.0696
播種性クリプトコックス症	○		1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	64 0.050	1 0.0708	151 0.11896
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	50 0.039	1 0.0708	122 0.09611
バンコマイシン耐性 球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	69 0.054	1 0.0708	78 0.06145
百日咳	-	-	19 1.34	14 4.09	1 0.29	1 0.69	3 1.32	0	0	0	2547 2.007	133 9.4126	16545 13.0344
風しん			1 0.07	1 0.29	0	0	0	0	0	0	83 0.065	7 0.4954	2294 1.80725
麻しん			1 0.07	0	0	1 0.69	0	0	0	0	12 0.009	9 0.6369	743 0.58535

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<https://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<https://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<https://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

